文化シヤッター株式会社
本社
東京都文京区西片1丁目17-3 〒113-8535
お客様相談センター 03 5844 7111
www.bunka-s.co.jp/

■製品保証

保証期間
施工業者よりの引渡し日(注1、注2)から2年間とします。
(注1)改修工事の場合は、改修部分の工事完了の日とします。
(注2)分譲住宅(建売住宅)・分譲マンションの場合は、建築主様への引渡し日とします。

保証内容
取扱説明書、ラベルその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項に該当する場合を除き、無料修理いたします。ただし、遠隔地や離島への出張修理の場合は交通に要する実費をいただく場合もあります。
なお、強風時に雨水が浸入することがありますが、この製品上の特性であり不具合ではありません。

免責事項
①使用方法の誤りによる故障および製品の損傷。
②天災その他の不可抗力(例えば、暴風、豪雨、高潮、津波、地震、噴火、落雷、洪水、地盤沈下、火災など)により、商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合
③自然現象や使用環境に起因する不具合(例えば、結露・凍結、風による振動・共鳴音など)
④環境が悪い地域や場所での腐食またはその他の不具合(例えば海岸地帯での塩害による腐食。大気中の砂塵・煤煙・各種金属粉・亜硫酸ガス・アンモニア・車の排気ガスなどが付着しておきる腐食。異常な高温・低温・多湿による不具合など)
⑤表示された商品の性能を超えたことに起因する不具合(例えば、カタログなどに記載された耐風圧以上の風圧に起因するものなど)
⑥建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合
⑦本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合、または使用目的と異なる使用方法による場合の不具合
⑧当社の手配によらない第三者の加工、組み立て、施工、管理、修理、改造、メンテナンスなどに起因する不具合(例えば、海砂や急結材を使用したモルタルによる腐食。中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色や腐食。工事中の養生不良による変色や腐食など)
⑨お客様自身の組み立て、取り付け、修理、改造(必要部品の取り外しを含む)に起因する不具合
⑩引き渡し後の操作誤り、または適切な維持管理を行わなかったことによる不具合
⑪使用に伴う接触部分の摩擦・傷、塗装の剥離や時間経過による塗装の退色、樹脂部品の変質・変色、めっきの劣化またはこれらに伴うさびなどの不具合
⑫実用化されている科学や技術では、予測することや予防することが不可能な現象またはこれが原因で生じた不具合
⑬犬、猫、鳥、鼠、昆虫、ゴキブリ、蜘蛛などの小動物の害による不具合
⑭機能上支障のない音、振動など感覚的現象
⑮犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合

※保証期間経過後の修理、交換などは有料とします。
※本記載によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理、その他についてご不明な場合は、最寄りの当社支店・営業所にお問い合わせください。

■定期点検契約のおすすめ

末永く、安全にお使いいただくためには、定期点検と定期的な部品交換が必要です。定期点検契約をむすんでいただくことにより、専門家による点検と保守を行います。動作状態のチェックと給油、消耗部品の交換などを定期的に実施し、正常に働くよう入念に調整いたします。点検の記録は当社に保管し、お客様にそのつど報告いたします。機能低下や不慮の事故を防ぐ定期点検契約は、必要不可欠な製品の一部です。

■腐食が進みやすい環境での点検のお願い

沿岸地区などの自然環境、高湿な使用環境などの腐食が進みやすい環境では、1年に2～4回程度の点検が必要です(回数は状況により異なります)。点検により注油や部品交換など腐食への早期対応を行うことで、錆などによる「開閉機とシャフトを繋ぐローラーチェーンが破断しスラットの急速降下へ至る」といった事故を防ぎます。点検作業には専門知識が必要になりますので、下記の文化シヤッターサービス株式会社までご依頼ください。

■お手入れ方法

●スチール、ステンレス、アルミ製品共通
・雨などにより、泥、ほこりなどが付着しますと錆の発生を早め、美観上からも好ましくありません。
・製品が汚れた場合は、ぬれた布などで汚れを落とした後、固く絞った布などで水分をふきとってください。
・水洗いで落ちない汚れは、ぬるま湯で薄めた中性洗剤を使用したのち、水洗いし、最後に乾いた布で水分を拭き取ってください。
・なお、強風の際(特に台風の場合)は、塩分が内陸部まで飛来することがあるので、風が収まった後、できるだけ早い時期の清掃が必要です。

(注意事項)
・お手入れの際は、柔らかい布をご使用ください。
・製品へのキズを避けるため、金属ブラシ、たわし、みがき粉等の硬いものでこすらないでください。製品にキズが付くと、錆の原因となります。
・酸性またはアルカリ性の洗剤、ベンジン、シンナー、ガソリンなどの有機溶剤は、変色や腐食の原因となりますので使用しないでください。

●お手入れ回数の目安
(1年あたりの回数)

	海岸地帯	工業地帯	市街地	田園地帯
スチール(塗装品)	1～4	1～3	1～2	1
ステンレス(素地)	10～12	8～10	8～10	4～6
アルミ(クリア塗装)	1～4	1～3	1	1

回数はあくまでも目安なので、汚れの状況に応じて清掃回数を増やしてください。

●ステンレス部品の注意事項
・ステンレスは、錆びない素材と考えられがちですが、絶対に錆びない素材ではありません。通常、塗装など表面処理をしない状態で用いられますので、清掃も頻繁に必要です。
・初期の錆については、ぬるま湯で薄めた中性洗剤を使用したのち、水洗いし、最後に乾いた布で水分を拭き取ってください。
・泥、ほこり、塩水、排気ガス中の有害成分、洗浄薬液、もらい錆の付着は、ステンレス自身の錆に発展しますので、早めの清掃が必要です。

●スチール塗装品の再塗装
再塗装時期は、塗料種類や環境により異なりますが、3～7年に1度が適当です。

■電池使用製品について

蓄電池、乾電池を使用している製品につきましては、電池の寿命が切れる前に交換してください。電池の寿命が切れた製品をお使いになると、製品が正常に作動せず事故につながるだけでなく、電池から発煙・発火する恐れがあります。電池交換時期や乾電池の種類等につきましては、各製品の取扱説明書をご覧ください。電池交換についてのお問い合わせは、下記の文化シヤッターサービスまでご連絡ください。

■商品履歴管理システム

「商品履歴管理システム」とは、お届けした製品一台に一つずつ割り当てた管理ナンバーにより、定期点検結果や修理結果などを一元的に管理するシステムです。管理ナンバーは、〈IDタグ〉というラベルの表面に印字されていますので、定期点検や修理をご依頼の際は、この番号をお知らせください。〈IDタグ〉の貼付位置は、各製品の取扱説明書をご覧ください。
対象商品：電動ワイドシャッター、重量シャッター、オーバースライディングドア、パネルシャッター、
エア・キーパー大間迅、超高速アルミシャッターHSR、ワイドスライダー、セレスクリーン、
防煙垂れ壁、高速・低振動グリルシャッター

修理・点検に関するお問い合せは
0120-365-113
365日いいサービス

突然のシャッターや窓シャッターの故障。そんな時は、文化シヤッターサービス(株)のATSS=アットタイムサービスシステムをご利用ください。フリーダイヤルひとつで365日素早く対応いたします。

ご用命は

カタログの色は製品と多少異なる場合があります。製品改良のため予告なく仕様の変更をすることがあります。

No.516 初 版CA930-5FK'08・04

環境に配慮して大豆油インクを使用しています。

セレスクリーン

耐火クロス製防火／防煙スクリーン

国土交通大臣認定を取得している特定防火設備の耐火クロス製防火／防煙スクリーンです。

本製品を末永く、安全・安心にお使いいただくためには**定期点検契約**が必要です。

優れた遮炎・遮煙性と透光性を有するシリカクロス採用 の<セレスクリーン>は防災設計の自由度をひろげます。

BCW型全閉鎖タイプ

BC型全閉鎖タイプ

用途（建物内部専用）

BJ型・BCW型・BC型
面積区画 / 竪穴区画 / 異種用途区画 / 地下街区画

BH型
エレベーター前竪穴区画

国土交通大臣認定

BJ型 BCW型・BC型	BH型		
認定番号	認定番号	認定の種類	根拠条文
EA−0193	EA−0106	特定防火設備	建築基準法施行令 第112条 第1項
CAT−0305		自動的に閉鎖または作動する防火設備（面積区画）	建築基準法施行令 第112条 第14項第1号
CAS−0256	CAS−0200	自動的に閉鎖または作動し、遮煙性能を有する防火設備（竪穴区画）	建築基準法施行令 第112条 第14項第2号
CAS−0341		エレベーターホール（乗場前）の空間を含めての区画	建築基準法施行令 第112条 第14項第2号

BH型

BCW型避難口タイプ

BJ型避難口タイプ

ご注意ください <セレスクリーン>の設置には用途・性能に制限があります。条件をクリアしない場合には設置できません。必ず13ページをご確認ください。

文化シヤッターは取組んでいます。お客さまがいつまでも安心・安全にお使いいただくために!!

文化シヤッターはIDタグ（個別認識票）による品質維持・情報管理システム、定期点検契約による製品メンテナンス、ATSS（アットタイムサービスシステム）による緊急対応により、お客さまに〈セレスクリーン〉を安心・安全にご使用いただけるようサポートいたします。

定期点検契約 →P14

〈セレスクリーン〉を末永く安心・安全にお使いいただくためには、定期点検契約が必要です。詳細は14ページをご覧ください。

定期点検契約のメリット

安全性
動作状態、消耗品のチェックを実施し、故障の早期発見・早期処理で安全にご使用できます。

経済性
トラブルを未然に防ぐことで突発的な事故に対する予想外の費用を軽減できます。

耐久性
故障の初期段階で処置することで、製品に大きなダメージを与えずにすみます。

迅速性
万一の故障も、定期点検契約の情報をもとにカスタマーエンジニアが365日迅速に対処します。

商品履歴管理システム IDタグ

〈セレスクリーン〉1台ごとにIDタグ（個別認識票）による品質維持・管理の情報システムを実施しています。トラブル発生時などIDタグの管理番号をお知らせいただくことで、迅速により適切な対応をすることができます。

- メンテナンス状況商品履歴の把握
- 緊急時の修理に的確対応
- 部品等の不具合に早期に的確判断

IDタグによる商品履歴管理システム

ATSS
アットタイムサービスシステム

緊急の修理、突然のアクシデントそんな時は、文化シヤッターサービス（株）のATSS=アットタイムサービスシステム

0120-365-113

にお電話ください。365日迅速に対応いたします。

用途および開口部サイズに対応して各種の<セレスク リーン>をラインアップしています。

文化シヤッターでは用途、条件等に対応するため、竪穴区画最大開口がそれぞれ80㎡のBJ型、35㎡のBCW型、20㎡のBC型、さらにはエレベーター前竪穴区画専用のBH型をラインアップ。いずれも国土交通大臣認定を取得しています。

用途	型式	特長	設計範囲	タイプ
面積区画・竪穴区画・異種用途区画・地下街区画	BJ型 分割型	•竪穴区画最大開口80㎡までの大開口防火区画に対応する超ロングタイプです。 •スクリーン、シャフトが分割型のため、大開口での物流および施工、メンテナンス性が向上しました。	最大高さ 4.5m 竪穴区画最大開口 80㎡ 面積区画は 90㎡まで 最大間口 20m	全閉鎖タイプ / 避難口タイプ 面積区画で使用する場合、1連に最大3カ所まで避難口を設置することができます。 ※竪穴区画の場合、1ヵ所のみ。
	BCW型 一体型	•間口5m〜10mまでの防火区画に対応するワイドタイプです。 •スクリーン、シャフトは一体型です。	最大高さ 4m 竪穴区画最大開口 35㎡ 面積区画は 40㎡まで 最大間口 10m	全閉鎖タイプ / 避難口タイプ 面積区画で使用する場合、1連に最大3カ所まで避難口を設置することができます。 ※竪穴区画の場合、1ヵ所のみ。
	BC型 一体型	•間口5mまでの防火区画に対応するスタンダードタイプです。 •スクリーン、シャフトは一体型です。	最大高さ 4m 竪穴区画最大開口 20㎡ 最大間口5m	全閉鎖タイプ / 避難口タイプ 1連に1カ所のみ避難口を設置することができます。
エレベーター前竪穴区画	BH型 バランス式	•エレベーター前竪穴区画専用タイプです。 •納まりがコンパクトなため天井内スペースがせまいところに最適です。 •スクリーンがそのまま避難口になります。	最大高さ…3m 最大間口…2m ※9~11ページをご覧ください。	避難口マーク手掛けなし / 避難口マーク手掛けつき 脱出を要する用途では避難口マークと手掛けを設けます。

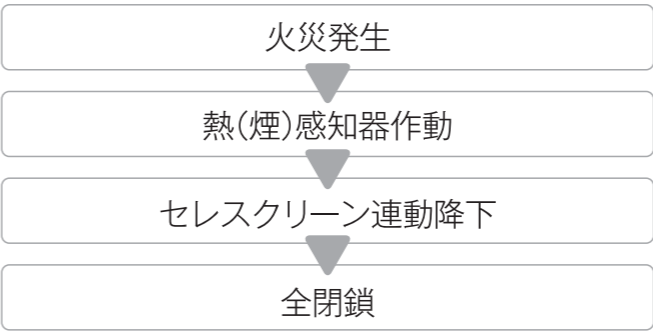
火災時に遮炎・遮煙性能を発揮

●優れた遮炎・遮煙性能を有するシリカクロスを採用。従来の鋼製防煙シャッターと変らない遮炎・遮煙性能を備えています。

●熱(煙)感知器と連動して防火・防煙区画を形成します。

※スクリーンは布製ですのでシワが生じる場合がありますが、遮炎・遮煙性能上の問題はありません。

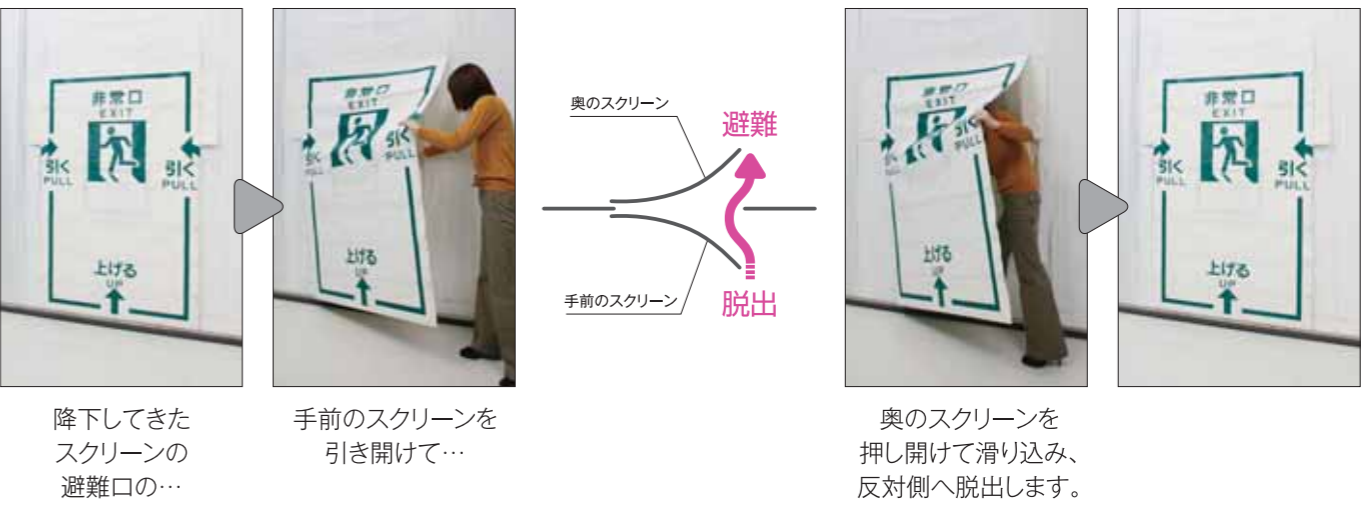
作動フロー

火災発生 ▼ 熱(煙)感知器作動 ▼ セレスクリーン連動降下 ▼ 全閉鎖

軽量かつコンパクト設計

スクリーン重量は約0.7kg/㎡。鋼製防火/防煙シャッターに比べ約20分の1と極めて軽量のため、建築物への影響が少なく、また施工の省力化につながります。

1/20

<セレスクリーン>重量 約0.7kg/㎡

鋼製防煙シャッター重量 約14kg/㎡

透光性のためパニックを解消

火災時にスクリーンを通して反対側の火災状況を察知できるため、閉鎖感によるパニック状態の緩和に効果的です。

スッキリ納まり

ガイドレールの溝幅は11mmとスリムなため、レール部の意匠性は高くスッキリとした仕上りです

BX

避難口タイプの避難方法

降下してきたスクリーンの避難口の…

手前のスクリーンを引き開けて…

奥のスクリーン
手前のスクリーン
避難
脱出

奥のスクリーンを押し開けて滑り込み、反対側へ脱出します。

BJ型 BCW型・BC型

挟まれ事故を防止する危害防止装置を標準装備

挟まれ事故を防止

シャッターの座板部に危害防止装置を標準装備。
人が接触するとシャッターが停止、約10秒後に再降下を開始し、完全に閉鎖します。

非常用電源で作動、停電時でも感知

火災や停電で一次測電源が切れた場合でも、危害防止用連動中継器の非常用電源により障害物を感知してシャッターを停止させます。蓄電池が切れると火災時に正常に作動しません。

蓄電池の交換時期のお知らせ

危害防止用連動中継器の非常用電源に使用する蓄電池は4～5年毎に交換が必要です。蓄電池が切れると火災時に正常に作動しません。蓄電池の交換時期を、手動閉鎖装置の非常用シャッター閉鎖ボタンが点滅し、お知らせする機能を有しています。

正常時

ボタンが消灯しているときは蓄電池は正常です。

消灯しています

蓄電池の交換時期

ボタンが点滅し、蓄電池の交換時期をお知らせします。

点滅します

蓄電池交換時期のお知らせ

1. 本製品には、危害防止用連動中継器を設置しており、この装置はニッケル・カドミウム蓄電池を内蔵しています。蓄電池は時間の経過と共に出力容量が低下しますので、4～5年毎に交換が必要です（周囲環境30℃の場合）。なお、蓄電池寿命は使用環境・仕様頻度により短くなる場合があります。
2. 寿命の過ぎた蓄電池では、火災時（一次側電源が切れた場合や停電時）に、危害防止装置が正しく作動しないため、挟まれ事故防止にはなりません。
3. 寿命の過ぎた蓄電池は、蓄電池の容器が割れ、液漏れ・異臭・発煙・発火などの被害を引き起こす原因となります。
4. 蓄電池容量を確かめるため、半年に1回は「蓄電池確認テスト」を行っていただきます。
5. 蓄電池の交換は文化シヤッターサービス（株）が行います。

危害防止装置の作動フロー

火災感知／閉鎖

- 熱（煙）感知器が火災を感知します。
- 防災用連動制御器を経由して、危害防止用連動中継器に防災信号が入ります。
- 危害防止用連動中継器から、自動閉鎖装置に信号が入り、シャッターが自動閉鎖を開始します。

障害物感知／停止

シャッター閉鎖中に人などの障害物を感知すると停止します。

（一次側電源が通電している場合は、2秒間反転上昇します。停電時は停止したままです。）

障害物除去／再降下

障害物が除かれると約10秒後に自動閉鎖装置が再度作動して、シャッターが閉鎖を開始します。

遮炎・遮煙／全閉

シャッターは全閉停止し、煙害や延焼等を防ぎます。

BJ型 BCW型・BC型

避難口設置について

BJ型

BJ型は「Fサイドユニット」「中間ユニット」「Dサイドユニット（開閉機設置側）」をジョイントして構成されています。
避難口が設置できるのは「Fサイドユニット」「中間ユニット」で、「Dサイドユニット」には設置できません。設置数は1連に3カ所までです。

※避難口は、下図の位置以外には設置できません。　※図中のL寸法は各ユニットのケースの長さを示します。

設計範囲：4000＜Ⓦ≦7070

設計範囲：7070＜Ⓦ≦8300

設計範囲：8300＜Ⓦ≦10770

設計範囲：10770＜Ⓦ≦12000

設計範囲：12000＜Ⓦ≦14470

設計範囲：14470＜Ⓦ≦15700（避難口は3カ所まで）

設計範囲：15700＜Ⓦ≦18170（避難口は3カ所まで）

設計範囲：18170＜Ⓦ≦19400（避難口は3カ所まで）

設計範囲：19400＜Ⓦ≦20000（避難口は3カ所まで）

BCW型・BC型

BCW型、BC型避難口スクリーンの配置は基本設置位置（左右対称）になります。
基本設置位置でない（左右非対称）の場合も製作可能です。弊社担当までご相談ください。

避難口1カ所の場合

設計範囲：1400≦Ⓦ≦10000

避難口2カ所の場合（面積区画のみ）

設計範囲：6220≦Ⓦ≦10000

※竪穴区画、異種用途区画等の遮煙性能が要求される区画には使用できません。

避難口3カ所の場合（面積区画のみ）

設計範囲：9330≦Ⓦ≦10000

※竪穴区画、異種用途区画等の遮煙性能が要求される区画には使用できません。

BJ型

設計範囲

▨部分は有効開口面積が80㎡を超える範囲で、竪穴区画、異種用途区画等の遮煙性能が要求される区画には使用できません。

全閉鎖タイプ

避難口タイプ

ケース寸法

型式	範囲	開閉機	A	B
BJ型	A	EGR-30X	340	685
		EGR-40XH		
	B	EGR-50X	349	694
		EGR-60XH		

(注) 開閉機(電動式)とは別に危害防止用連動中継器にも商用電源が必要です。
※1 電動式の場合必要です。
※2 電動式、手動式ともに必要です。
※3 蓄電池が内蔵されており、4~5年毎に交換が必要です。

標準納まり図

ガイドレール断面図▶

BJ型・BCW型・BC型共通　製品仕様

構成部材

シート	樹脂コーティングシリカクロス(約0.7mm)　色:ホワイト
座板	スチールまたはステンレス(下面をシートでカバー)
ガイドレール・まぐさ	スチールまたはステンレス
ケース	スチール

開閉機

機種	操作方式	電圧	出力	周波数
EGR-30X	上部電動式 (押しボタンスイッチ式)	3相 200V 単相100V	0.125kw	50/60Hz
EGR-50X			0.25kw	
EGR-40XH	上部手動式 (ハンドル式／チェーン式)	—	—	—
EGR-60XH				

設計耐用回数　1500回開閉

・「設計耐用回数」は保証値ではありません。保証期間については「製品保証」を参照してください。
・「設計耐用回数」はお客様による適切な維持・管理とお手入れを行い、かつ専門技術者による定期的なメンテナンス(定期交換部品の交換、注油、調整など)を実施した場合の数値です。なお、沿岸部、温泉地帯、化学・薬品工場などの腐食性環境や、大気中の砂塵、煙などが商品に付着する場所、および高温、低温、多湿などの使用環境下では、記載数値を満足しないことがあります。

使用条件

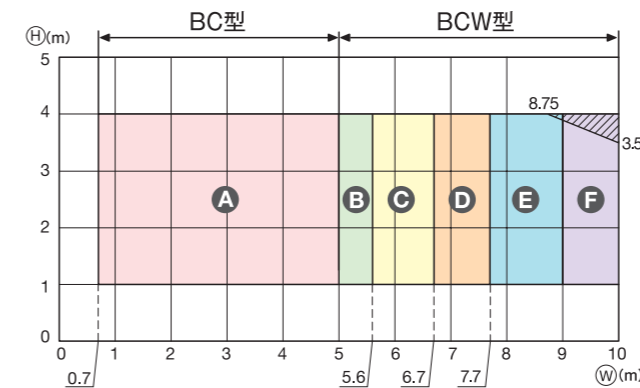
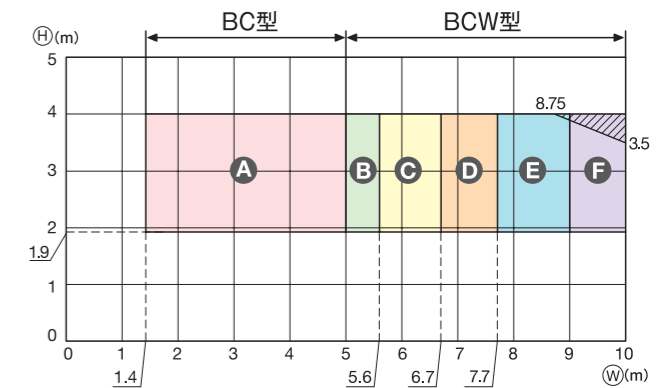
周囲温度：-10℃~+40℃
周囲環境：粉塵、有害ガス、結露、凍結のないこと

※スクリーンは布製ですのでシワが生じる場合がありますが、遮炎・遮煙性能上の問題はありません。

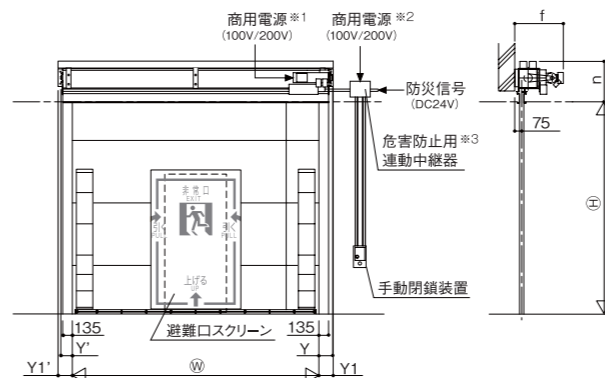
BCW型・BC型

設計範囲

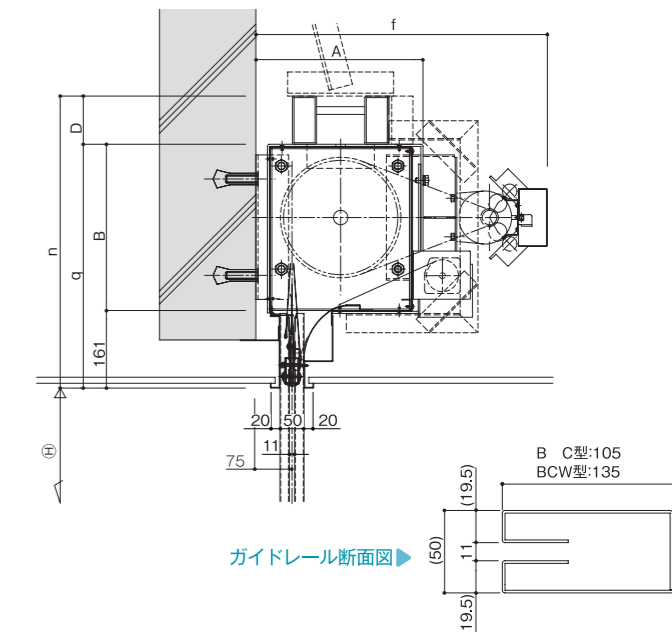
▨部分は有効開口面積が35m²を超える範囲で、竪穴区画、異種用途区画等の遮煙性能が要求される区画には使用できません。

全閉鎖タイプ

避難口タイプ

ケース寸法

型式	範囲	開閉機	A	q	B	f	D	n	Y	Y1	Y'	Y1'
BC型	A	EGR-30X (電動式) EGR-40XH (手動式)	270	376	215	526	0※	376	150	155	125	155
BCW型	B		311	458	297	568	75	533	185	185	149	185
	C		332	492	331	590	75	567	185	185	149	185
	D		347	507	346	605	100	607	190	185	150	185
	E		388	543	382	647	100	643	190	185	150	185
	F		388	543	382	647	100	643	190	185	150	185

※ BC型にはケース上部に補強材はありません。

(注) 開閉機(電動式)とは別に危害防止用連動中継器にも商用電源が必要です。
※1 電動式の場合必要です。　※2 電動式、手動式ともに必要です。
※3 蓄電池が内蔵されており、4~5年毎に交換が必要です。

標準納まり図

ガイドレール断面図▶

BH型 エレベーター前区画竪穴専用のコンパクトで　操作が容易なバランス式もご用意しています。

<セレスクリーン>BH型は、エレベーター前竪穴区画用途に特化した常時開放式の特定防火設備です。コンパクトな納まりと操作しやすいバランス式で、スクリーン自体が避難口となり、持ち上げが容易なため避難の際のパニック状態を緩和します。

用途　昇降ロビーを含む
エレベーター前竪穴区画

遮炎・遮煙性能

エレベーター前竪穴区画専用の特定防火設備として国土交通大臣認定を取得しています。（認定番号は1ページをご参照ください）

高い安全性

スクリーン自体が軽量なので、降下中でもスクリーンを手で止められます。もし挟まれても簡単に持ち上げて抜け出すことができ、高い安全性を確保しています。

スクリーンがそのまま避難口に

BH型はスクリーンを持ち上げることで、開口すべてがそのまま避難口になります。

容易な避難

スクリーン中間部に設けた手掛けにより、大きく屈むことなくスクリーンを持ち上げられます。また、従来の防火戸では床面に段差が生じるケースがありましたが、<セレスクリーン>では段差がありません。車椅子に乗ったまま避難できます。

避難口からの避難方法

火災が発生し感知器連動、または手動閉鎖装置の操作によりスクリーンが降下し、防火・防煙区画を形成します。エレベーターが停止・着床して、エレベーターの扉が開くとスクリーンが閉鎖しています。

避難の際は、スクリーンの中間部にある手掛けを持ち上げます。

軽量のため、スムーズに持ち上がります。

そのままくぐれる高さまで持ち上げて避難します。手を離すとゆっくり自重降下します。降下中でも手で止めることができます。鎮火後は座板フックを起こして、スクリーンを天井に押し込むだけです。

コンパクトな納まり

シャッターケース、ガイドレールが小さく、天井内スペースが狭いところに最適です。また、露出納まりでの設置もできます。

◀天井内納まり例

▲収納ケース露出納まり例

製品仕様

構成部材

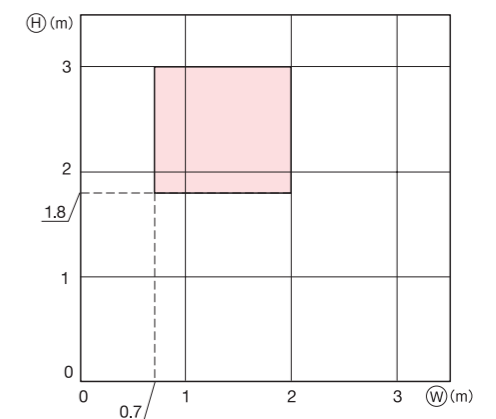
シート	樹脂コーティングシリカクロス（0.7㎜）色:ホワイト	
ガイドレール 座板 まぐさ ケース	標準	スチール
	オプション	塗装 シルキーホワイト　シルバーグレー ペールベージュ
		ステンレス ヘアライン仕上げ　※ケースはステンレスにできません

開閉耐用回数　1500回開閉

「設計耐用回数」は定期点検契約に基づいた点検・整備が行われている場合の目安です。使用状態、使用環境によって大きく異なります。「設計耐用回数」は予告なく変更する場合があります。

使用条件

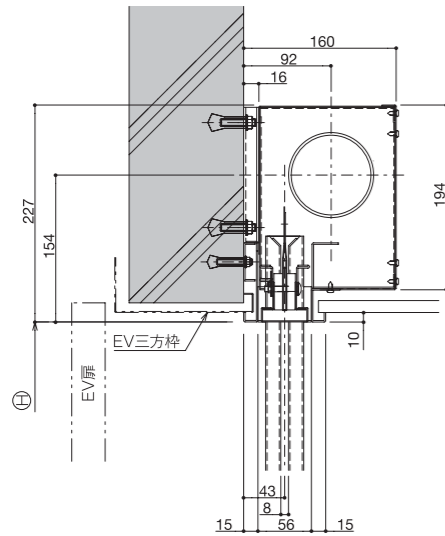
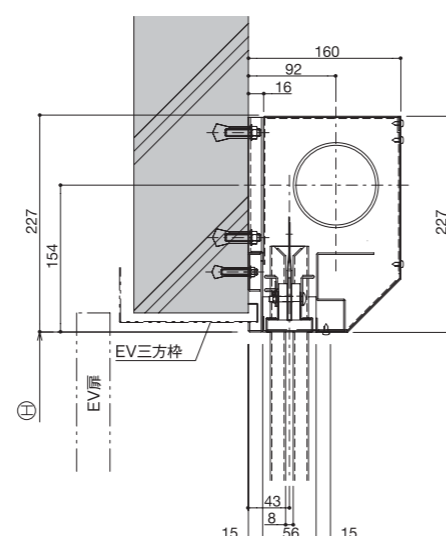
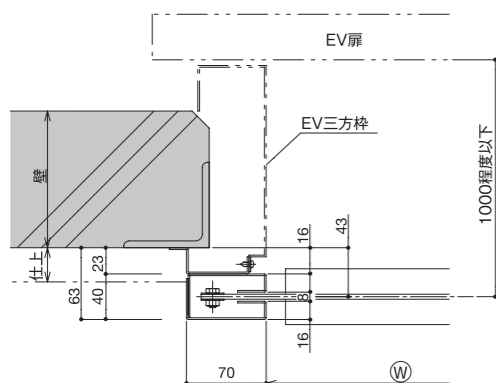
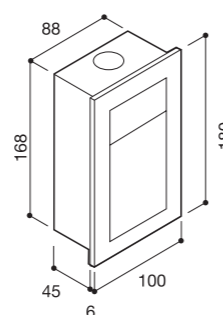
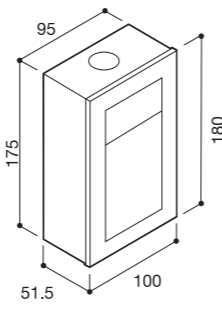
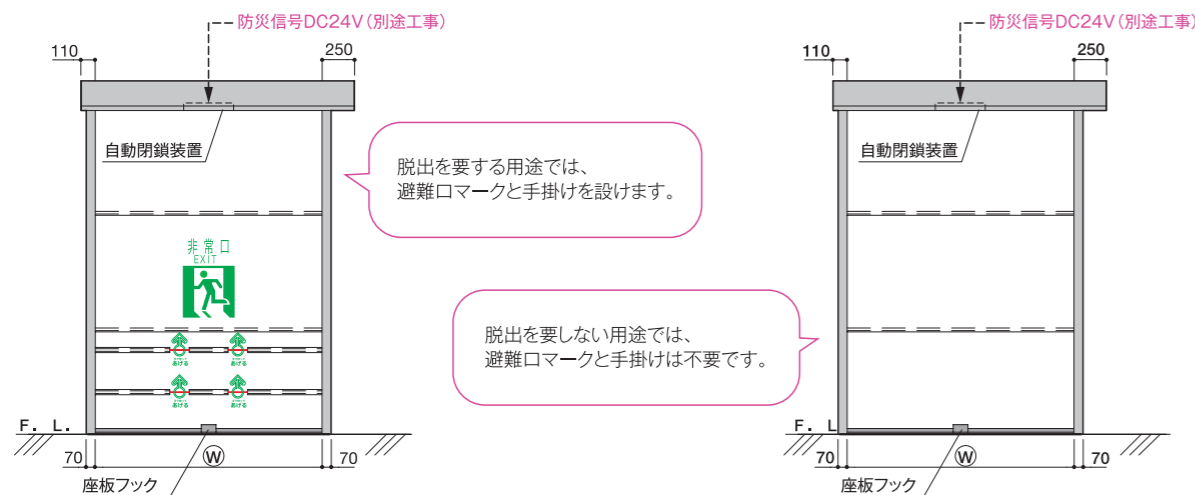
周囲温度：-10℃~+40℃
周囲環境：粉塵、有害ガス、結露、凍結のないこと

設計範囲

ご注意　セレスクリーンBH型は、全閉鎖した際に下限信号を発信しません。

BX

BH型

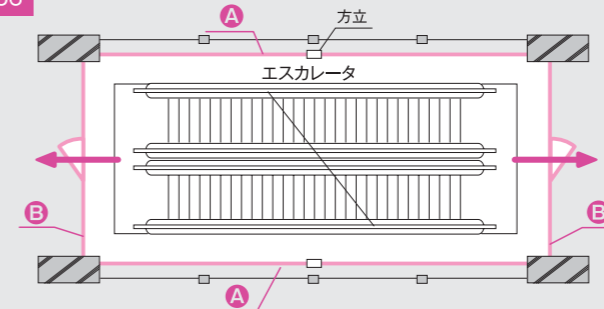
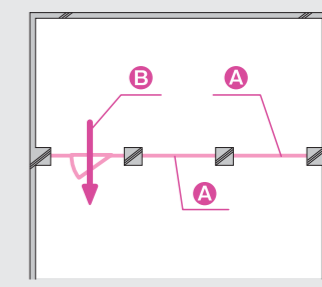
納まり図

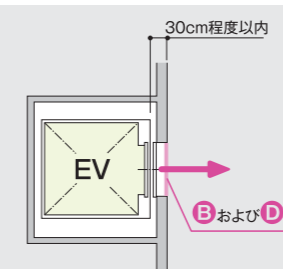
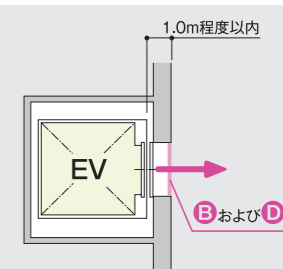
天井内納まりケース部詳細図

露出納まりケース部詳細図

ガイドレール部詳細図

手動閉鎖装置

姿図

※避難口マークと手掛けは、エレベーター内部側につきます。

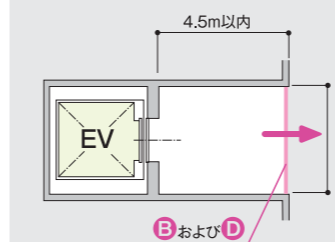
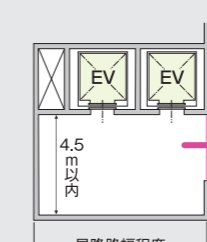
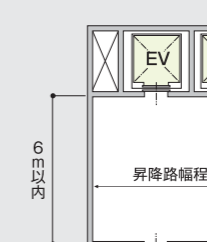
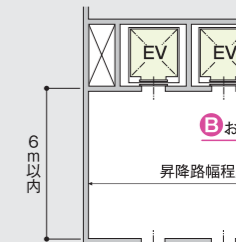
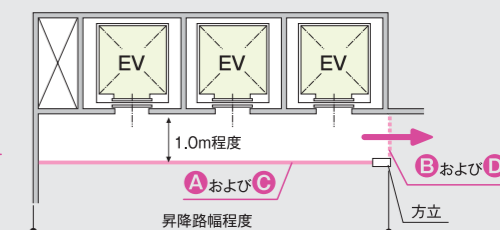
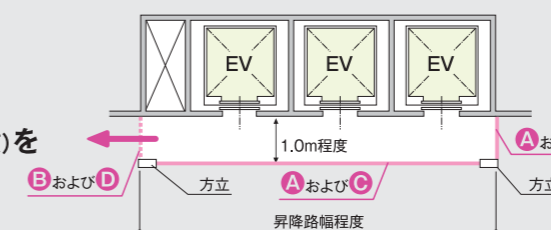
<セレスクリーン>の設置例

A：セレスクリーンBJ型、BCW型、BC型（全閉鎖タイプ）　C：セレスクリーンBH型（避難口マークなしタイプ）
B：セレスクリーンBJ型、BCW型、BC型（避難口タイプ）　D：セレスクリーンBH型（避難口マークつきタイプ）
EV：エレベーター

竪穴区画・面積区画の設置例

認定番号 CAS-0256 エスカレーター周りの竪穴区画

認定番号 CAT-0305 ロビー・ホワイエ アトリウムの面積区画

エレベーター前防火防煙区画の設置例

認定番号 CAS-0256 もしくは CAS-0200
乗り場と防火設備の間隔が30cm以内の場合

認定番号 CAS-0341
非常時に空間（乗場戸から1.0m程度以内）を形成する場合

認定番号 CAS-0341 乗降ロビーを設ける場合

乗り場戸の正面に防火設備

エレベーター1列、防火設備 片側

エレベーター対面、防火設備 片側

エレベーター対面2、防火設備 片側

認定番号 CAS-0341
非常時に空間（乗場戸から1m程度）を形成する場合

●エレベーターとの連動管制運転について　乗場戸の直前に防火シャッターが設置された場合には、連動管制運転を装備することになっています。ただし、手動で開閉できる<セレスクリーン>BH型（避難口マークつき）を設置した場合は連動管制運転は不要となります。（JEAS-408「防火シャッター等との連動管制運転方式に関する標準」）

BX

セレスクリーン設置制限

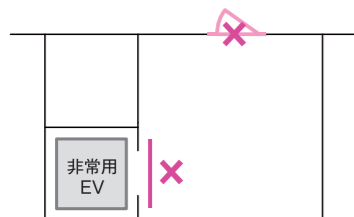
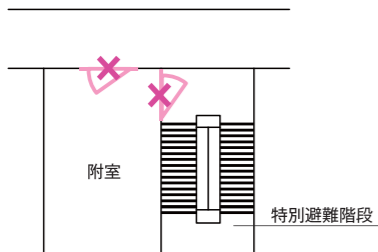
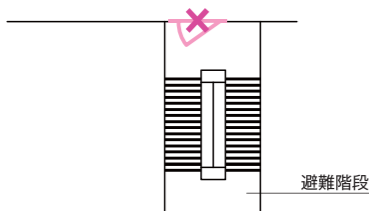
下記条件にあてはまる環境には設置できません。

用途制限

<セレスクリーン>全型式共通

1. 常時開放式の防火設備として日常閉鎖する用途には使用できません。
2. 常時開放式の防火設備として防犯上の管理用途には使用できません。

<セレスクリーン>BJ型避難口付、BCW型・BC型避難口付、BH型

3. 非常用エレベーターの区画には使用できません。

4. 特別避難階段の入口および附室の入口（避難階の場合は出口）の区画には使用できません。

5. 避難階段の入口（避難階の場合は出口）の区画には原則として使用できません。

6. 建築基準法別表第1（1）および（4）特殊建築物の直通階段の入口（避難階の場合は出口）の区画には使用できません。
7. 上記6の特殊建築物の水平避難区画の用途には使用できません。

[特殊建築物]

建築基準法別表第1（1）項の用途
　劇場、映画館、演芸場、観覧場、公会堂、集会場、その他これに類するもの

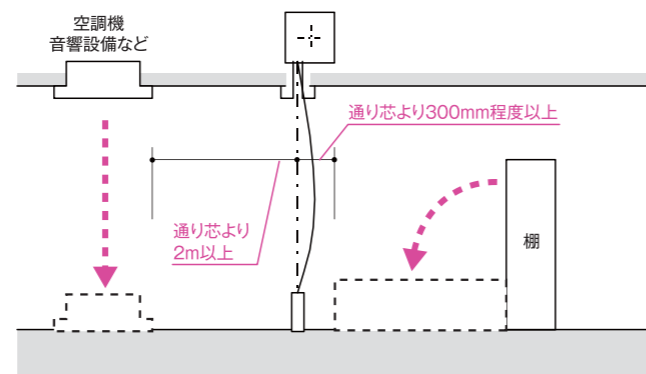
建築基準法別表第1（4）項の用途
　百貨店、マーケット、展示場、キャバレー、カフェー、ナイトクラブ、バー、ダンスホール、遊技場、その他これに類するもの

性能制限

<セレスクリーン>全型式共通

8. 区画の内外圧力差が30Paを超える場所には使用できません。
・屋外（または外部風雨の影響を受ける場所）に直接面する区画
・地下鉄のホーム（列車通過時の風圧の影響を受ける場所）などつながる区画
・ガス系消火設備が設置されている空間
・ガス、石油などの危険物の保管場
・機械排煙が設置されている区画

確認してください。
圧力調整や自然排煙が可能ならOK。

9. 天井から吊り下げている重量物が火災時に落下してシートを破損する恐れがある場合、また、倉庫、物販店舗などの家具、棚などの転倒の恐れがあるものが<セレスクリーン>の付近にある場所には使用できません。
但し、落下、転倒を予防する施しや下図の様な対策を施す事で設置が可能です。

10. 厨房等のように多量の油煙、水蒸気等が発生する場所は、巻かれたシート同士が密着して降下障害の可能性があるので設置できません。

<セレスクリーン>BJ型避難口付、BCW型・BC型避難口付、BH型

11. 用途制限4、5、6、7以外であっても避難時に滞留人数が30人を超える場所には設置できません。

日常点検と定期点検について

防火／防煙スクリーンやシャッターおよび関連製品は機械的、電気設備であるため、設置時と同じ性能を確保するうえで、適切な維持管理を行うことが必要です。これらの設備は防火／防煙性能の確保、閉鎖作動時の面から、日常的な自主点検および専門技術者による定期点検を行うことが一層の重要性をもっています。

日常点検

日頃から各設備について、普段と違う**音、見た目、動作**などの変化に注意して見てください。
危害防止用連動中継器の蓄電池は、消耗品ですので交換が必要です。

定期点検

点検には専門の知識と高度な技術を必要とし、危険を伴う点検箇所もあります。
点検については、それぞれの点検資格者におまかせください。

BX

定期点検契約の必要性と定期交換部品・交換時期の目安をご説明いたします。

お見積
点検にかかる費用と交換部品の概算お見積をお知らせします。

定期点検の ご契約

定期点検の実施
プロによる機能・作動点検を行います。

部品交換
消耗部品の交換と再調整・給油等を行います。

IDタグによる商品履歴管理システム

※定期点検契約のご提案とあわせて、定期交換部品に関する長期修繕計画もご提案いたします。

文化シャッターは、IDタグ（個別認識票）による品質維持・管理の情報システムを実施し、お客さまに〈セレスクリーン〉を安心・安全にご使用いただけるようサポートいたします。